

中部地区 公民館だより

第139号

令和4年9月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

落語会



8月5日(金)、多目的ホールにて山形落語愛好協会の皆さんを招き落語会を開催しました。

4人の噺家さんからくりだされる古典落語は楽しく、つい聞き入ってしまい、笑うタイミングが少しだけずれてしまう事がありました。

演目がすすむにつれ、笑いどころでは笑い、あの世の話もありましたが、とても楽しい真夏のひと時を過ごすことができました。



街歩きウォーキング③

中部地区内 足湯、公衆浴場めぐり

健康ポイント対象事業 20P 付与

日 時 10月7日(金)
受付時間 午前9時20分
集合場所 中部地区公民館
ガイド 牧野運営協議会会長
対 象 中部地区在住の方
参加費 無料
受付開始 9月6日(火)
持ち物 必要な方は足ふきタオル
飲み物は公民館で準備します

参加者募集

草細工教室

日 時 10月14日(金)
午前9時30分～
場 所 中部地区公民館 多目的ホール
講 師 宮城興業(株)
対 象 中部地区在住の方
参加費 1,500 円
募集人数 10名(人数になりしだい締切ります)
受付開始 9月6日(火)
そ の 他 汚れてもいい服装

参加者募集

お知らせ

- ★ 9月の百歳体操はお休みです。
- ★ 9月のはこべの会サロンはお休みです。
- ★ 『フライングディスクと輪投げ大会』は都合により日程変更になりましたので、9月22日(木)まで参加者の追加募集をします。
- ★ 9月17日(土)に開催予定の『地域の宝さがしウォークラリー』は、都合により10月15日(土)に変更になりました。
詳しい日程、詳細につきましては、隣組回覧をご覧ください。

9月の予定

5日(月) はこべの会 学習会
9日(金) 第2回地域づくり委員会
26日(月) 消防訓練
29日(木) フライングディスクと輪投げ大会

サンデー議会

日時 9月4日(日) 午前9時30分～
場所 上山市議会議事堂

『金森家』(1) 「頼岑侯入封」 よりとき

土岐氏転封の後、上山藩は幕府領となりました。元禄4年(1691)6月に幕府代官永田作太夫、小野朝之丞が着任した後、幕命で上山城が破却されたようすは前号で述べました。その後の元禄5年(1692)7月28日、飛騨国高山城主金森出雲守頼岑が、出羽国上山の新藩主として発令されました。8月15日に金森家家臣4名が先乗り、9月22日に永田・小野両代官から上山藩治政の事務引き継ぎをしたあと金森家家臣団5千名が10月初めに高山を発ちました。

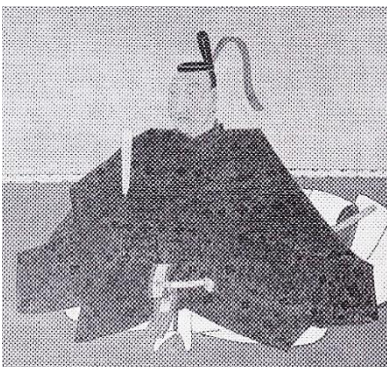
金森家文書に「北浜偶嘯^{くうしゅう}」というお国替紀行日記(36)があり、「太守(頼岑侯)この国を去りて遠く羽陽の上山というところに知行したまふと聞き知りぬ。しかありし後は貴も賤も賢も愚なるも心をそらにし足をふみまどへて更にうつつ心もなく、それぞれ様々に物を取り、何事にかあらん罵^{ののし}りありく程に、幼い者、老いたる尼など物抱え、あるいは提げ^さなどして涙流しながら走り歩くさま、いと騒がしくもあはれにも思いはべりし」と始まり、慕われた土岐家が上山を離れるのと同じさまが記されています。お国替え一行の旅は飛騨高山から富山、親知らずを北上しました。途中で古歌「思いきや越路^{こしじ}の浦に旅ねして今宵の月を詠むべしとは」が挟

まれています。胎内黒川から小国玉川、赤湯を経て上山へ入部。全行程120里、18日間、10月21日に金森玄蕃殿らが着き、最後尾は28日に着く大移動でした。末尾に「かねて聞く東^{あづま}の奥の草^{いお}の庵^{いお}も思いしほどは濡れぬ袖かな」とあり、危惧したほどの地ではなく忙しい中に人々はもてなしてくれたことに安堵する様が詠まれています。

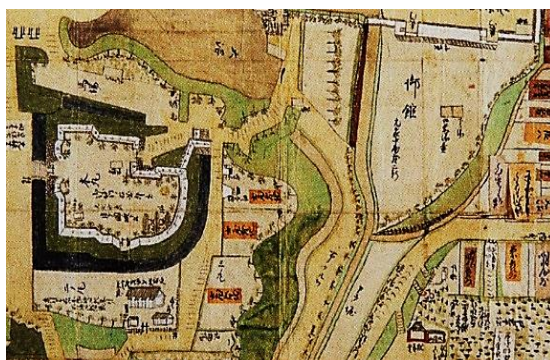
さて、政務を執るにも城剥ぎ直後で城はなく、家中の宿取る屋敷もありませんでした。金森頼岑侯御舎弟玄蕃殿は仮宿りとして法円寺に、その後八幡丁小路屋敷に移りました。家老金森将監^{しょうげん}、同金森兵庫はじめ上士・藩士は、三町(鶴脛・十日・二日町)、北町、裏町・長清水・河原子・糸目・金沢・仙石・金谷・小泉村の大家民家に分宿し、西郷、東郷、下郷溝延(現河北町)などに上士代官を配しました。

政務は本丸館がなく、「案ずるに、仮に旧城二之丸沼口の所に、居館を経営して居住したるもなるべし」、「屋敷は買い取り移り候、その他借り移り候てさわがしきこと常ならず」(17)と文書に記されています。

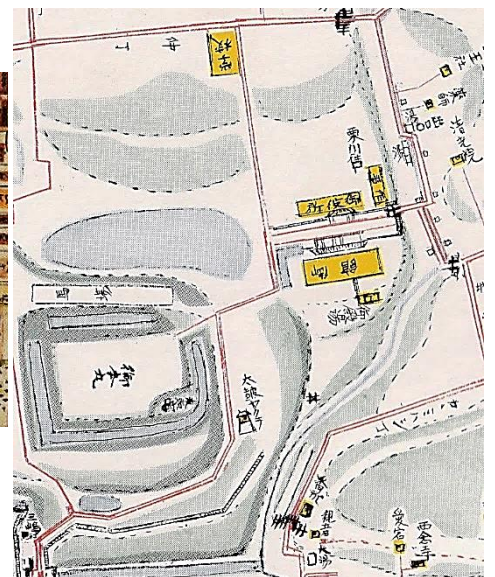
この年の11月4日に川向(現八日町)に改めて板橋が架けられ渡り始めが行われました。



金森頼岑侯肖像画(「金森家文書集」より)



本丸跡と御館(現在の上山小学校地)
藤井松平地代の「上山城絵図」(「上山城絵図と瓦」より)
～右上が湯町



本丸跡と藩庁館(現在の上山小学校地)
(「上山見聞随筆」第七図より部分)
～右上が湯町

※参照:『上山市史・上』、『上山三家見聞日記』⑪、『上山見聞随筆』⑱並びに付図集、『金森家関係文書集』③⑥など